



第 82 号

2020・12・25

社会福祉法人明峰福祉会  
特別養護老人ホーム

やまゆり荘

〒449-0211

東栄町大字中設楽

字松久保1-3

☎0536-79-3534

## 回覧

ホームページ

[https://www.](https://www.meiho-f.com/)

[meiho-f.com/](https://www.meiho-f.com/)



## 年頭のご挨拶

理事長 佐々木経人

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年2月以降、世界中に「新型コロナウイルス」が蔓延し、多くの尊い命が奪われてしまいました。幸い当施設への影響は無かったものの、五月祭、敬老会など施設内での各種催し物が全て中止、縮小せざるを得ず、面会制限を始めとして入所者様、ご家族様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、紙面を通してお詫び申し上げます。誠に残念な一年でありました。

新たな年を迎え「新型コロナ対策」は勿論のこと、明峰福祉会の理念である「人を大切に、地域を大切に」をモットーに、入所者様、ご家族様に寄り添い、地域社会に貢献できる人材の育成に努めてまいります。

**やさしさ**と **まごころ**と **ゆとり**を持ち **互いに** **りかい**し **合い** **そんけい**の念を持って **うけ**入れる 施設となるよう更に努力いたします。

皆様方のご健康とご多幸を祈念し、年頭の挨拶とさせていただきます。

## 新型コロナウイルス終息を祈念して

去年の今頃、世界がこのようになることを予想できた人はいなかったのではないでしょう。自分も、その予想できなかった一人です。世界は変わりました。とりわけ、今流行中の新型コロナウイルスは、高齢の方がかかってしまうと、若者がかか

るより健康への影響が大きいということ、とても厄介な病気です。

きつと何もなかったならば、東京オリンピックも延期にならず、大歓声の開幕を下ろしていたことでしょう。

全国の高齢者施設では、面会の制限等を余儀なくされているのが現状であり、やまゆり荘においても、コロナ流行以前のようにには面会ができない状況が続いています。



そんな中、入所者の皆さんがコツコツと文化祭に向けて、延期となつてしまったオリンピックにちなんだオブリジェを一生懸命作成してくれました。

新型コロナウイルス終息を祈念して、東栄町の町民作品展会へ展示させていただきました。



## 敬老会（すみれ棟）

敬老会を開催しました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で主だった行事は全て中止となつていたため、入所者の皆さんは、いつもより増して敬老会を楽しみにされ、朝から服装を気にされていました。

午前中は、荘長がお祝いの品を入所者の皆さんへお渡しし、ちよつとリッチ



な昼食をとりました。従来ですと午後からは保育園児の皆さんや地元サークルの皆さんなどのパフォーマーを堪能するのですが、今年には残念ながら・・・では寂しいので、密にならないように注意しながら、すみれ棟の皆さんだけで歌を歌いました。

昔使用した歌詞カードを引っ張り出してきて、介護士のギター伴奏での即興の歌の会でしたが、皆さんとても楽しんでくださいました。

いつもと違った敬老会でしたが、すみれ棟の皆さんと一緒に私も幸せな気持ちになりました。

すみれ棟チーフA

## 敬老会（ひまわり棟）



敬老会当日の朝、皆さん早々と綺麗な衣装に着替え「まだ始まらないの」などとお話しながら行事が始まるのを待っていました。

敬老会の開始の放送が流れ、一層ワクワク、そわそわされていました。

まずは敬老のお祝いの品の受賞です。

担当介護士が一人ひとりのことを思い、趣向を凝らしたプレゼントを用意させていただきました。き、やまゆり荘荘長よりお祝いの言葉と共に受け取られました。皆さん嬉しそうに「ありがとうございます」と感謝の言葉を述べてプレゼントを受け取られました。

受け取られた方から順に開梱し、ある方は「これ、似合っているかしら」などと話され、周りの方たちと嬉しそうにされていました。

入所されている皆さんの喜んで



でいる姿を見て、プレゼントを用意させていただいた各担当者もいつも以上に笑顔でした。今年も、残念ながら新型コロナウイルスの影響で催し物などはできませんでしたが、例年どおりの入所者様の笑顔をたくさん拝見することができました。

来年は、今年以上に入所者様、ご家族様が喜んでいただける敬老会を開催できるように、職員一同頑張りたいと思います。

ひまわり棟チーフI

## 防護服の着脱方法を勉強

新型コロナウイルスが流行し始めて11か月ほどが経過しようとしています。

入所者様やそのご家族の皆様には、面会制限、五月祭はじめ各種行事の中止、ケアプラン会議への出席中止など辛いお願いをしているところです。



やまゆ

り荘では、感染対策会議を適宜行い「手洗い・マスク着用・手

指消毒」「三密を避ける」「不要不急の外出を避ける」「毎日の体温測定(自己体調管理)」などを意識しながら生活することを職員にお願いしています。

そんな中、荘内研修として「感染防護服の着脱方法」を勉強しました。施設の看護師が着脱を実演し、その後、介護職員や調理職員、事務職員が着脱を体験しました。

体験中は「動きづらい」「着ると暑い」「手元が見づらい」など色々な思い(本音)がこぼれましたが、こうした思いをしないように(させないように)、また、施設内へ新型コロナウイルスを持ち込まない努力をし続けなければならないと改めて感じました。

今年度、やまゆり荘では新型コロナウイルス対策として、防護服、マスク、消毒用エタノールなどを備蓄しました。万全かどうか不安はありませんが、行政からの指示に基づいた対策を行いつつ、施設においても正しい情報と知識で感染を防いでいきたいと思えます。

いつ終息するかわからない「新型コロナウイルス」早くワクチンや治療薬ができることを願っています。

看護師チーフ